

令和5年度 小金井市立小金井第二中学校学校経営方針

学校の目的（＝社会に対する役割）は、「良き社会人」の育成である。「良き社会人」とは、自分力を最大限に発揮し、社会に貢献すること（＝自己実現）ができる人をいう。また、「正義の通る集団」として民主的で自治的な集団を育成し、その集団の中で、良き社会人の育成のために、生徒一人一人の資質・能力を最大限に伸ばしていくことこそが、学校としての使命である。

【めざす学校像】

- すべての生徒が心の居場所をもち、安心・安全に生活できる学校
- 自治力があり、正義の通る集団としての学校
- これからの社会で活躍できる力を育む学校
- 学校・家庭・地域がともに協力し、生徒を育てていく学校

本校教育目標【めざす生徒像】

- 社会の一員としての自覚を高め、豊かな創造力と実践力をもった人間の育成を目指して
- 自他を認め、支えあう生徒
 - ◎ **すすんで学び、考え、行動する生徒**
 - 心身を鍛え、たくましく生きる生徒

【めざす教師像】

- 学校の課題解決のために、組織の一員として、使命感をもって取り組む教師
- 生徒理解力、授業力の向上を目指して自己研鑽に励み、生徒の一人一人の「良さ」を伸ばすための努力を惜しまない教師
- 生徒・保護者や地域社会の期待に応え、信頼される教師

【本年度の取組目標と方策】

（１）学力向上に関する取組

- ① 生徒一人1台のICT端末の効果的な活用を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進とその一体化を充実させ、生徒が自ら学びを調整し粘り強く学習に取り組む態度の育成を図る。
- ② 生徒に身に付けさせたい力（目標）の明確な提示とその振り返りのある授業の実施により、生徒が自己の課題を把握できるようにし、家庭学習の充実につなげる。
- ③ 指導と評価の一体化をめざし、授業改善、学習評価の改善を図る。

（２）集団の育成及び社会性を育む取組

- ① 生徒会活動や学級活動などにおける自治的活動を通して、集団としての意識の向上を図り、正義の通る集団の育成を行う。
- ② 特別活動、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間における取組を充実させ、勤労観・職業観の育成を図る。
- ③ 社会における課題を「自分事化」する教育活動を充実させ、主体的に社会に関わる（自分の問題として捉え、行動できる）態度の育成を図る。
- ④ 不登校・いじめの未然防止、早期発見、早期対応への組織的取組を推進する。
- ⑤ 学校連絡協議会と地域学校協働活動の連携を推進する。

（３）特別支援教育の充実

- ① 特別支援教室と連携し、通常学級における特別な配慮を要する生徒への支援の充実を図る。
- ② 特別支援学級の進路指導の充実（就労）を図る。
- ③ 特別支援学級の生徒と通常学級との交流活動を通して、生徒相互の理解を図る。

（４）地域と連携・協働した学校運営の推進

- ① コミュニティスクールとして、学校運営協議会の充実を図る。
- ② 学校連絡協議会と地域学校協働活動の連携を推進する。
- ③ 教育活動における地域資源・人材の活用を図る。

【具体的教育活動（抜粋）】

学習指導

- 各教科
- 生徒一人一台のICT端末の効果的な活用をとおして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を充実させた授業方法の研究及び実践
 - 「何ができるようになるか」を教師と生徒が共有するための目標提示と、その到達度を生徒自身も把握できるような振り返りの実施
 - 体験的活動や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な活動の充実（生徒が自ら「問い」をもち、その解決を図ろうとする授業の実践）
 - 校内及び小中連携における教員相互の授業観察・協議の実践

特別の教科 道徳

- 道徳的諸価値に根差した問題について、「考え、議論する」道徳の実施。

総合的な学習の時間

- 実社会・実生活から自ら進んで解決していこうとする課題として、小金井市気候非常事態宣言を受け、**持続可能な開発目標（SDGs）を大テーマ**とした探究的学習（調べる⇒共有する⇒新たな課題を発見）の実施。

生活指導

- 基本的な生活習慣の確立、ルールを守る心、自主的・自律的な態度の育成。特に、「挨拶」「時間」を重点項目とする。
- いじめ防止や教育相談充実のために、ふれあいアンケート(年6回実施)の活用や面談等の実施。
- 「小金井市子どもの権利条約」に関わる授業の実践
- 避難訓練やセーフティ教室（ネット・ケータイ安心講座）、薬物乱用防止教室、防災訓練等の実施。
- 特別支援教育支援員や校内別室指導支援員を活用した支援体制の構築

進路指導

- 1年生の「身近な人の職業調べ」「人生の先輩に学ぶ会」2年生「職場体験」、3年生「上級学校の授業体験や学校訪問」などの体験的学習の充実
- 生徒が、自分の道は自分で切り拓くことができるように**キャリアパスポートを活用**

学級活動

- 第1学年での小集団でのリーダーの育成、第2学年、第3学年での学級リーダーの育成を通じた集団の育成および、役割と責任を明確にした指導の実施。

学級活動における課題解決のための話し合い活動を数多く設定

生徒会活動

- 委員会活動を通して、「自分たちの学校は自分たちで良くする」という意識の醸成による生徒の自治的な活動
- 地域の一員としての意識の醸成と地域活動への参画
- 生徒会活動による「ハチドリプロジェクト」の取組

学校行事

- 生徒自らが、学校行事を組織的・計画的に立案できる場面の設定。
- 日頃の学級指導の成果を活かした行事の取組ならびに行事の成果を学級指導に活かす工夫の実施。

部活動

- 部活動を通して、技能が向上することの楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を送ることをねらいとして実施。
- 生徒の自発的・自主的な活動。

その他

- 保護者、地域等と連携・協働を推進し、共に子供を育て、地域と共にある学校づくりをめざす。（学校運営協議会、地域学校協働活動の推進）